

平成21年7月3日

## 「平成21年度広島市立広島特別支援学校 夏期校内研修会」の御案内

### 1 研修会内容

| 番号 | 研修会主題・講師   | 日程(場所)                            |
|----|--|-----------------------------------|
| 1  | 「児童生徒の発達に即した授業づくり ～国語科 ことばの指導～」<br>講師：広島市教育委員会特別支援教育課指導主事 山領 勲               | 7月24日(金)<br>9:30～11:30(食堂)        |
| 2  | 「自閉症教育の7つのキーポイントについて」<br>講師：広島県立広島特別支援学校教諭 内田 俊行                             | 7月24日(金)<br>13:00～15:00(食堂)       |
| 3  | 「作業学習の授業づくり」<br>講師：山口大学教育学部教授 松田 信夫  | 7月28日(火)<br>13:30～15:30(食堂)       |
| 4  | 「障害者の権利条約について ～その可能性と課題～」<br>講師：NPO法人「エス・アイ・エヌ」理事長 久保 正道                     | 7月29日(水)<br>10:00～11:30(食堂)       |
| 5  | 「自立支援法と福祉制度の利用について」<br>講師：こども療育センター地域支援室 鈴木 秀穂                               | 7月30日(木)<br>10:00～11:30(食堂)       |
| 6  | 「萩地域の地域コーディネーターによる教育相談活動から学ぶ」<br>講師：萩総合支援学校 特別支援教育センター室長 石橋 剛(地域コーディネーター)    | 7月31日(金)<br>13:00～15:00(食堂)       |
| 7  | 「訪問教育の理解とその指導について」<br>発表・提案者：本校教諭(訪問学級) 山本 郁子<br>講師・助言者：広島県立広島西特別支援学校長 水田 弘見 | 8月4日(火)<br>13:30～15:00(食堂)        |
| 8  | 「医療的ケアを必要とする児童生徒の理解と指導について」<br>講師：広島県立広島西特別支援学校長 水田 弘見                       | 8月4日(火)<br>15:15～16:45(食堂)        |
| 9  | 「教師の専門性を高めるために」<br>～作業療法士(OT)との連携を活かす支援について～<br>講師：広島大学医学部助教 石附 智奈美          | 8月5日(水)<br>13:30～15:30(食堂)        |
| 10 | 「支援機器製作 全方向スイッチづくり」<br>講師：本校教諭(情報教育担当者) 瀬戸 幹夫                                | 8月6日(木)<br>14:00～17:00<br>(3F作業室) |
| 11 | 「発達検査について②」<br>講師：堺市立百舌鳥支援学校教諭 金井 孝明   | 8月26日(水)<br>13:30～15:30(食堂)       |

教材の展示会を8月5日(水)～8月26日(水)に実施しております。

駐車場の確保ができないため、公共交通機関をご利用ください。

当日、会場には冷房をかけますが温度調整が不十分なため調整できる衣服をご持参ください。

### 2 参加申し込みについて

「参加申込書」(別添)に必要な事項をお書きのうえ、市のメール便・FAX・郵送・Eメールでお申し込みください。

申し込み期限 各々の研修会の一週間前まで(研修会番号10支援機器製作のみ二週間前まで)

申し込み先 〒730-0051 広島市中区大手町四丁目4番4号(校番 中区特1)

広島市立広島特別支援学校 研修部 大久保 誠

TEL (082) 245-0304

FAX (082) 245-0349

Eメール: [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

### 研修会番号1 「児童生徒の発達に即した授業づくり～国語ことばの指導～」

1学期に授業をしてみて困ったこと、わからなかったことはなかったでしょうか？この基礎研修会は、国語と算数の指導についての研修会を毎年交互に行っています。今年度は、国語のことばの指導について研修する予定です。ことばとは何か、音声言語だけでなく、サイン言語・身体言語等、伝える手段としてのことばのとらえ方、さらに、新学習指導要領に即しながら、「伝え合う力」や「聞く・話す」の観点をベースに段階に沿ってお話いただきます。2学期からの授業づくりにきっと役立つことと思います。

### 研修会番号2 「自閉症教育の7つのキーポイントについて」

県立広島特別支援学校の内田俊行先生をお招きし、「自閉症教育の7つのキーポイントについて」をテーマにお話をさせていただきます。本校の研究主題である「一人一人の教育的ニーズに応じ、生きる力をはぐくむ授業づくり」を実践していく上で大切な、児童生徒が「自ら学習する態勢になる力」「自ら指示に応じる、指示を理解できる力」などのつけたい力と、それぞれの力に対して具体的にどのような目標をかかげて取り組んでいくのか、という実践的なお話をさせていただく予定です。2学期からの取組にすぐに役立つお話をうかがうことができると思いますので、是非ご参加下さい。

### 研修会番号3 「作業学習の授業づくり」

「作業学習って何だろう」、「作業学習ってどんなことをしていけばいいんだろう」、という疑問をお持ちの方も多いのではないでしょうか。本研修では、作業学習について基礎的なことや、卒業後の豊かな生活を見据えた授業づくりについてじっくりと学ぶため、障害（児）者の就労生活支援の研究をされている山口大学教育学部教授松田信夫先生をお招きし、御講演していただきます。これまでの研究・実践に基づいた、詳しく分かりやすいお話がうかがえるのではないかと思います。

### 研修会番号4 障害者の権利条約について「その可能性と課題」

条約の概要と、その中で述べてある合理的配慮とは何か、障害を持つ方々がその不平等を是正していくための3つのカテゴリー（社会全体の法律・制度、障害別政策、障害者個人に合わせた手立て）について、また、障害児教育との関連や教育にどう生かせるかなどについての話をさせていただきます。

### 研修会番号5 「自立支援法と福祉制度の利用について」

自立支援法が制定された後すぐに改正され、その後、様々な課題が報告されていますが、私達小・中学部の教員や小・中学校の先生方には、その辺は普段の教育実践からは見えにくいところがあります。そもそも自立支援法とは？何が具体的に問題なの？地域や放課後の子どもたちの暮らしに変化はあるの？福祉サービスは今どのような手続きで利用するの？そしてこれからはどうなっていくの？などなどこれからの問題は長期的な視点で一貫した的確な支援を行うことを目的として作成する「個別の支援計画」に関わっても、また福祉・労働等の関係機関・関係部局との密接な連携協力を確保する上でも知っておく必要があるのではないのでしょうか。この機会に広い視野から特別支援教育を考えてみてはいかがでしょうか？

### 研修会番号6 「萩地域の地域コーディネーターによる教育相談活動から学ぶ」

山口県の宇部養護学校萩分校（現山口県立萩総合支援学校）（萩養護学校当時）では、28年前から萩・長門地域の保育園幼稚園・小・中学校等の教育相談が行われてきました。そして、山口県では昨年度から全県に50名の地域コーディネーターを配置して地域支援を始めました。石橋先生もこの萩の取り組みから継続して地域コーディネーターとして障害のある子どもたちの発達診断や親や教員・支援者の発達相談を丁寧に取り組まれてきました。

今回の研修では「地域支援とは？」「相談支援とは？」「発達診断や発達相談が果たす役割とは」等、石橋先生がこれまで積み重ねられたご経験から、事例も交えてお話をさせていただける、大変有意義な研修会となることを期待しています。

## 研修会番号7 「訪問教育の理解とその指導について」

訪問教育では重い障害に加え、医療・健康面の配慮が必要で毎日の通学が難しい児童・生徒に対して家族や病院に教員が訪問し、学習を行います。

本年度は、広島西特別支援学校校長の水田弘見先生を講師に招き、重度・重複障害をもつ児童・生徒とのかかわりについてのお話を聞くとともに、本校訪問学級の児童生徒の授業の様子や、訪問学級の教育課程の紹介を行います。

訪問学級の様子を知るよい機会になるとともに重度・重複障害をもつ児童・生徒に対するかかわりを考える時間となることを期待しています。

## 研修会番号8 「医療的ケアを必要とする児童生徒の理解と指導について」

医療的ケアを看護師だけで行う体制であっても、教師はそれまでの授業における児童生徒の様子を看護師に知らせ、看護師には児童生徒の心理的サポートをする教員と心を合わせてケアを行う姿勢が求められると同時に教師にも医療的ケアの教育的効果を高め、よりよい連携・協力の在り方が望まれます。これらのことをふまえて、医療的ケアを必要とする児童生徒の理解と指導について学びたいと思います。

## 研修会番号9 「教師の専門性を高めるために

### ～作業療法士(OT)と連携を活かす支援について～

特別支援学校には「教育と医療・福祉期間との連携事業」による作業療法士(OT)が配置されています。教師と作業療法士が連携をとって、授業や生活場面での児童・生徒の困りごとの解決を目指して課題に取り組む中で、教師の支援の質や専門性の向上につながります。この研修会では「作業療法士のできること」「教師との連携をとるために」を理解し、教師の専門性に作業療法という視点を加えた取り組みが、より効果的な支援や個別の指導計画の作成、卒業後の生活や就労に向けた移行支援に役立つ研修なることを期待しています。また、当日は、特別支援学校で支援に入られている作業療法士の皆さんにも参加いただき、事例に基づいたワークショップも行います。この機会に作業療法士と教師の専門性の交流をしてみませんか。

## 研修会番号10 支援機器製作～全方向スイッチづくり～

軽く押ししたり引いたり、左右に動かすだけでスイッチがONになる全方向スイッチを作ります。肢体不自由のある児童・生徒の意志決定やゲームの場面等で使えます。

※ 材料費 1500円を当日徴収致します。

※ 定員は20名程度です。準備物などの詳しい内容については、参加申し込み受付後に再度ご案内いたします。

## 研修会番号11 「発達検査について」

昨年に引き続き金井孝明先生(堺市立百舌鳥支援学校教諭)をお招きして、発達検査によるアセスメントのあり方について研修します。豊富な実践例と検査データを活用しながら、検査の選び方、実施方法、結果の解釈、分析等、重要ポイントについてお話して頂く予定です。現場で扱いやすい具体的なアセスメント法を中心にしながら、日々の指導や評価、指導計画にどう反映させていくかという疑問にもヒントが頂けることと思います。今年も多方面からの参加をおまちしています。

## 研修会参加申込書

|  |                                   |   |   |   |    |    |   |
|--|-----------------------------------|---|---|---|----|----|---|
| <b>学校（所属）名</b>   |                                   |   |   |   |    |    |   |
| <b>勤務先住所</b>   |                                   |   |   |   |    |    |   |
| TEL (                    )<br>FAX (                    ) |                                   |   |   |   |    |    |   |
| <b>お名前</b>   | <b>研修会番号</b><br>○をしてください<br>(複数可) | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6 |
|  |                                   | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |   |
| <b>お名前</b>   | <b>研修会番号</b><br>○をしてください<br>(複数可) | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6 |
|  |                                   | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |   |
| <b>お名前</b>   | <b>研修会番号</b><br>○をしてください<br>(複数可) | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6 |
|  |                                   | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |   |
| <b>お名前</b>   | <b>研修会番号</b><br>○をしてください<br>(複数可) | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6 |
|  |                                   | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |   |
| <b>お名前</b>   | <b>研修会番号</b><br>○をしてください<br>(複数可) | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6 |
|  |                                   | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |   |
| 【その他、連絡があればご記入ください。】                                     |                                   |   |   |   |    |    |   |

- \* 申し込み期限 **各研修会の一週間前まで**にお願いします。
- \* 研修番号10「支援機器製作 全方向スイッチづくり」のみ、申し込みを**2週間前まで**にお願いします。
- \* その他、申し込みに関するお願い
  - 各校・各施設で、できるだけまとめてお申し込みください。
  - 参加申込書は必ずコピーをされ、写しを各校・各施設にて保管しておいてください。
  - F A X送信で申し込まれた場合は、回線が混み合う場合がありますので、必ず送信確認をされてください。
  - 参加をキャンセルされる場合は、研修部 大久保 誠までご連絡ください。
- \* 申し込みにあたっての個人情報は、この研修会に関する事以外には使用いたしません。